

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年4月5日 (2018.4.5)

【公表番号】特表2017-509697(P2017-509697A)

【公表日】平成29年4月6日 (2017.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2017-014

【出願番号】特願2016-571450(P2016-571450)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 8/73 (2006.01)

A 6 1 Q 1/00 (2006.01)

A 6 1 Q 5/00 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/366 (2006.01)

A 6 1 K 31/357 (2006.01)

A 6 1 P 33/06 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/4365 (2006.01)

A 6 1 K 31/37 (2006.01)

A 6 1 P 7/02 (2006.01)

C 0 8 B 31/00 (2006.01)

C 0 8 B 31/12 (2006.01)

C 0 8 B 31/04 (2006.01)

A 0 1 P 3/00 (2006.01)

A 0 1 N 33/12 (2006.01)

A 2 3 L 33/125 (2016.01)

A 2 3 L 33/115 (2016.01)

A 2 3 L 33/11 (2016.01)

A 2 3 L 33/17 (2016.01)

C 0 8 L 3/04 (2006.01)

C 0 8 K 5/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/14

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 8/73

A 6 1 Q 1/00

A 6 1 Q 5/00

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 K 31/366

A 6 1 K 31/357

A 6 1 P 33/06

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 31/4365

A 6 1 K 31/37

A 6 1 P 7/02
C 0 8 B 31/00
C 0 8 B 31/12
C 0 8 B 31/04
A 0 1 P 3/00
A 0 1 N 33/12
A 2 3 L 33/125
A 2 3 L 33/115
A 2 3 L 33/11
A 2 3 L 33/17
C 0 8 L 3/04
C 0 8 K 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月23日(2018.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

- 一重らせん V 構造を有し、少なくとも 0.25 の置換度を有する官能化デンプン、および

- 前記官能化デンプンと包接錯体を形成する、難水溶性又は水不溶性の生物活性剤、ここで、前記生物活性剤は一重らせん V 構造を有する前記官能化デンプンの前記らせん V 構造内にある、

を含む、粉末組成物。

【請求項 2】

前記置換度が約 0.25 ~ 約 1.5、または約 0.4 ~ 約 0.7 である、請求項 1 に記載の粉末組成物。

【請求項 3】

前記一重らせん V 構造を有する官能化デンプンが、カルボキシル化デンプン、ヒドロキシプロピル化デンプン、アセチル化デンプン、ヒドロキシプロピルメチル化デンプン、アミン化デンプン、アルキル化デンプン、アシル化デンプン、酸変性デンプン、オクテニル化デンプン、プレゼラチン化デンプン、またはこれらの組み合わせである、請求項 1 または 2 に記載の粉末組成物。

【請求項 4】

前記カルボキシル化デンプンが、カルボキシメチルデンプン、カルボキシエチルデンプン、スクシニルデンプン、オクテニルスクシニルデンプン、アクリロイルデンプン、アセチルデンプンまたはこれらの組み合わせである、請求項 3 に記載の粉末組成物。

【請求項 5】

前記一重らせん V 構造を有する官能化デンプンが、天然もしくは非天然デンプン、またはこれらの組み合わせから調製される、請求項 1 に記載の粉末組成物。

【請求項 6】

前記天然デンプンが、トウモロコシデンプン、ジャガイモデンプン、エンドウマメデンプン、コメデンプン、マメデンプン、コムギデンプン、またはこれらの組み合わせである、請求項 5 に記載の粉末組成物。

【請求項 7】

前記非天然デンプンが、カルボキシメチルデンプン、ヒドロキシプロピルデンプン、ア

セチルデンブ、ン、ヒドロキシプロピルメチルデンブ、ン、アミンデンブ、ン、アルキルデンブ、ン、アシルデンブ、ン、酸変性デンブ、ン、オクテニルスクシニルデンブ、ン、プレゼラチン化デンブ、ン、架橋デンブ、ン、またはこれらの組み合わせである、請求項5に記載の粉末組成物。

【請求項 8】

前記非天然デンブ、ンが、カルボキシメチルデンブ、ン、カルボキシエチルカルボキシメチルデンブ、ン、カルボキシメチルヒドロキシプロピルデンブ、ン、カルボキシメチルヒドロキシプロピルメチルデンブ、ン、カルボキシメチルアセチルデンブ、ン、カルボキシメチルオクテニルスクシニルデンブ、ン、カルボキシメチルアクリロイルデンブ、ン、カルボキシメチルアシルデンブ、ン、カルボキシメチルアルキルデンブ、ン、カルボキシメチル架橋デンブ、ン、またはこれらの組み合わせである、請求項5に記載の粉末組成物。

【請求項 9】

前記一重らせん V 構造を有する官能化デンブ、ンが、部分加水分解デンブ、ンから調製される、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の粉末組成物。

【請求項 10】

前記非天然デンブ、ンが、部分加水分解非天然デンブ、ンである、請求項 7 または 8 に記載の粉末組成物。

【請求項 11】

前記生物活性剤が、単純脂肪酸、脂質化合物、複合脂質、抗生物質、タンパク質、ペプチド、医薬的に活性な成分、またはこれらの組み合わせである、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の粉末組成物。

【請求項 12】

前記単純脂肪酸が、- リノレン酸、エイコサペンタエン酸、ドコサヘキサエン酸、またはこれらの組み合わせである、請求項 11 に記載の粉末組成物。

【請求項 13】

前記複合脂質が、グリセリド、カロテノイド、テルペノイド、イソプレノイド、ウィタノライド、コレステロール、フィステロール、脂溶性ビタミン、スチルベノイド、またはこれらの組み合わせである、請求項 11 に記載の粉末組成物。

【請求項 14】

前記グリセリドが、オメガ 3 モノグリセリド、オメガ 3 ジグリセリド、オメガ 3 トリグリセリド、またはこれらの組み合わせである、請求項 13 に記載の粉末組成物。

【請求項 15】

前記一重らせん V 構造を有する官能化デンブ、ンおよび前記生物活性剤の比が、それぞれ約 12 : 1 ~ 1 : 2 である、請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の粉末組成物。

【請求項 16】

前記粉末組成物が、水性媒体に可溶性である、請求項 1 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の粉末組成物。

【請求項 17】

前記粉末組成物が、水性媒体に分散性である、請求項 1 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の粉末組成物。

【請求項 18】

請求項 1 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の粉末組成物、および
医薬的に許容可能な担体
を含む医薬組成物。

【請求項 19】

前記生物活性剤が、アルテミシニンまたはその誘導体である、請求項 18 に記載の医薬組成物。

【請求項 20】

前記生物活性剤がアルテミシニンである、請求項 1 に記載の粉末組成物の使用、およびそれを必要とする対象におけるマラリアの治療のための請求項 19 に記載の医薬組成物

o